

Book Preview

富山高校図書館 2026.1



『 眺めて作って楽しむ数学 』

横山 明日希【著】

数学のお兄さんとして広くご活躍の横山明日希先生と数学アートの第一人者の岡本健太郎先生のお二人による対談本です。いろいろな話題がポンポンとリズムよく出てきますので、臆することなくどうぞ楽しんでみてください。取り上げる題材の中には、見たり聞いたりしたことがあるものが多いと思います。よくよく掘り下げてみると、「美しい」数学だったり「はまる」数学だったり…。意外なことが盛り山です。紙や Excel など実際に手を動かしながら、数学って試すこともできる！と感じ取ってもらえるのではないのでしょうか。

『 注目企業の実例から学ぶパワポ作成術 』

パワポ研【著】

注目企業のパワポほどいいお手本はない！資料デザインのリサーチや分析に取り組むスペシャリスト集団・パワポ研が注目企業の実例のパワポを通してパワポ作成術を解説。資料のレイアウト、情報デザイン、色使い、構成の仕方などセンスのいいパワポを作成するためのノウハウが楽しく学べます。「ワンパターンなスライド作成をしている」、「差がつくアイディアがほしい」、「グラフの見せ方を変えたい」など、資料づくりでタイムロスしている人は即戦力アップにつながります。



『 まるごと理科 』

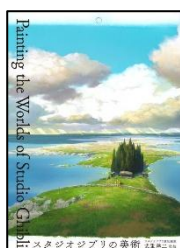
縣 秀彦【監】

学校で理科を学ぶのには理由があります。それは、理科の知識を身につけることで、自然界のさまざまなしくみやルールがわかるようになるからです。そして単に知識がふえるだけではなく、物事を科学的に考えられるようになります。SNS やインターネット上の情報を簡単に信じこまず、疑問に感じたことをきちんと調べ検証するくせを早いうちにつけておくと、その後の人生に役立つでしょう。この本は、中学校と高校で学ぶ理科の重要項目を1冊に凝縮したものです。「生物」「化学」「物理」「地学」を好きなところから読み進め、大いに楽しんでください。

『 世界が面白くなる！身の回りの数学 』

佐々木 淳【著】

苦手な人も多く、学生時代には避けてきた人も少なくない数学。「数学って何の役に立っているの？」と学ぶ意欲が出なかった人もいるでしょう。しかし、私たちが知らないだけで数学の考え方や公式は、日常生活のあらゆる物や事象に使われています。本書では身の回りの物や事象に数学がどのように取り入れられているかを解説することで、数学の奥深さや楽しさを紹介します。本来は数学の生命線ともいえる「厳密さ」を棚上げして、ざっくりとしたイメージや具体例を用いて解説しているので、文系の人も楽しく学ぶことができる1冊です！つい誰かに話したくなる数学の話が満載！“数学沼”にハマる珠玉の25講。



『 スタジオジブリの美術 』

スタジオジブリ【編】

本書は作品の世界をかたち作る背景美術に注目し、長編映画では1作品につき1000枚以上も描かれる膨大な背景の中から、844枚を掲載しています。絵の掲載にあたっては、美術監督の武重洋二さんに監修いただきました。1984年公開の『風の谷のナウシカ』から2023年の『君たちはどう生きるか』までの全27作品、監督の演出のもと筆致、色彩、遠近法、光と影などさまざまな技法を駆使して描かれてきた“スタジオジブリの景色”。巻末には美術監督武重洋二インタビューも掲載。名作のあのシーン、このシーンの背景をじっくり堪能できる完全永久保存版です。